

マイコンカーの研究 Basic Class

電子情報科 古山 寛太 橋本 裕太 谷口 悠

背景

毎年必ずマイコンカーの大会に参加していて、これまでなかなか北信越大会での完走を達成できなかった

目的

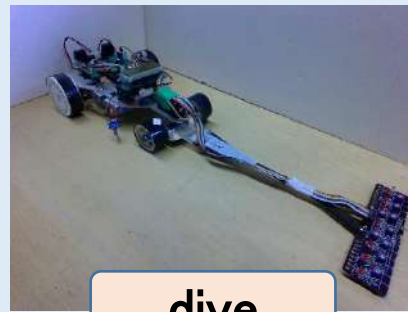
今までに学んできた知識や技術を生かして北信越大会で完走し、成果を後輩たちに残したかったから

車体説明



がんばれ能登

車体を
前方と後方で
分けて作製



dive

車体を
一枚のアルミ板
で作製

1. 市販のマイコンカーキットを制作
(マイコンカーの構造や原理について学んだ)
2. 自分たちの車体を設計
(レーザー加工機などを使い車体を組み立て)
3. 北信越大会に向けてプログラムなどを調整

結果

	がんばれ能登	dive
1回目	33.56	リタイア
2回目	リタイア	リタイア

「**がんばれ能登**」が自分たちの目標である、北信越大会での完走を成し遂げることができた

プログラムの見直し・サーボの舵角を調整。よりスムーズに走れるように改良。

	がんばれ能登	dive
ベスト	27.46	28.38

「がんばれ能登」大会本番よりタイムを大幅に短縮することができた「dive」完走できるようになった

考察

車体が完璧には設計できておらず問題がハード面なのかソフト面なのかわからなかった。完璧に車体を設計をすることが大切。

プログラムを少し調整するだけで大幅にタイムを短縮することができた。大会前でも冷静に判断して調整することが大切。